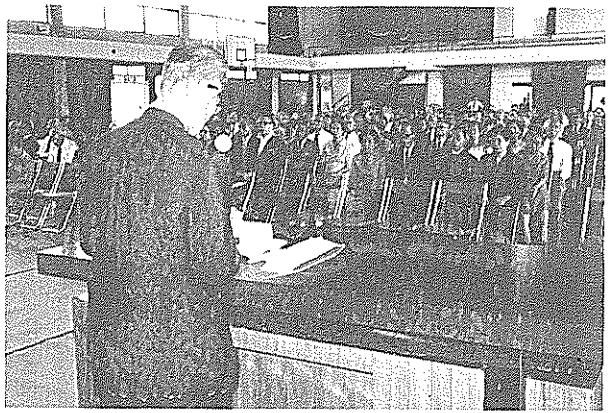


風雪に耐えた金婚夫婦四組



高知新聞社主催による恒例の「金婚夫婦祝賀式」が、今年も高知新聞創立記念日の九月一日、午後二時からRKCホールなど県下六会場でいっせいに開かれた。南国会場にあてられた市民体育館には、近隣の九市町村（南国市、土佐山田町、吉川村、野市町、赤岡町、香北町、物部村、大豊町、本山町）の金婚夫婦百三十六組が集まり、うち南国市から元氣なご夫婦四十組が参加しました。

日は久しぶりにみなさんを祝福するかのごとく晴れ上り、私もうれしく思います。みなさんはそれぞれの分野で社会に貢献してこられました。これからも貴重な人生経験を生かしてご指導をお願いします。」と祝辞がありました。

金婚夫婦はほとんどが昭和五年に結婚され、いやな戦争を体験し苦業を共に半世を過ごされた方々です。

出席された山下薫(75)・花美(75)さん(比江)ご夫婦は、昭和二十年ころ五人の子どもをかかえ、苦し

ソフト・フットベースに熱戦 子ども会六百人が参加

南国市子ども会連合会(竹村義弘会長)が八月二十四日、午

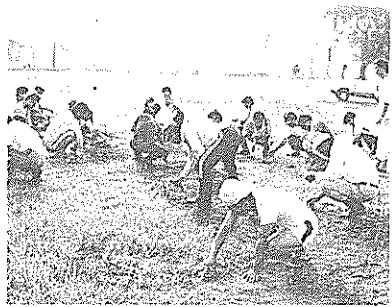
婦は、太平洋戦争ころ着るものもなく、寝る時間も惜しんで働いた。今や孫やひ孫に恵まれ、手伝い程度の仕事をしながら楽しい生活をしている。と、それぞれ苦業を語られていました。

金婚をむかえられた40組のご夫婦

氏名・年齢	住所	氏名・年齢	住所
土居 熊治(74)・小 春(71)	十 市	倉橋 秀寿(77)・時 於(75)	下野田
福井 武義(75)・當 恵(71)	里改田	岩原 榮喜(74)・絹 子(68)	穴 崎
福井 俊(73)・梅(68)	"	須藤 勇(73)・小 糸(73)	上末松
西村 寛造(81)・小 苗(76)	浜改田	棚野 薫(70)・千 代(70)	下末松
能勢 勝喜(72)・花 枝(67)	物 部	中橋 登(70)・藤 美(70)	稲 生
中山 始(74)・八千代(70)	岡豊町	葛目 浅一(70)・種 於(70)	"
和田 透(74)・薫(67)	"	浜田 一枝(70)・登志恵(67)	"
葛目 延(70)・繁 子(68)	"	野本 清嘉(73)・好 子(68)	領 石
土居 亀吉(75)・智津子(71)	十 市	小原 国吉(70)・操(71)	立 田
土居 寿幸(71)・繁 子(70)	"	吉井 透(73)・幸(69)	"
森尾 直樹(74)・香 於(67)	"	小菰 伸吉(70)・清 美(77)	福 船
竹内 登(70)・久 江(66)	比 江	内田 貢(60)・寿 亀(72)	"
山下 薫(73)・花 美(68)	"	森本 幸一(73)・繁 寿(70)	植 田
桑名伊勢吾(75)・政 樹(70)	大 埔	坂本 清喜(74)・楠 寿(73)	上末松
中沢 秀幸(73)・玉 井(70)	"	松本 基治(73)・清 亀(68)	前 浜
山崎 清志(73)・時 恵(70)	"	中司 四郎(74)・富美子(70)	白木谷
大谷 亀(74)・幸 恵(70)	"	岩原 成基(73)・亀 喜(70)	"
斉藤 愛民(81)・トシコ(75)	金 地	刈谷 利之(73)・丑 子(71)	植 野
吉村 一男(73)・静(75)	後免町	宮本 秀馬(77)・義 美(74)	奈 路
藤川千万太(77)・信 恵(70)	天行寺	日和佐徳兵衛(82)・福 衛(85)	上野田



自分達の使うグラウンド 手入れも自分達で……



日曜日や祭日は利用者でいっぱい。『葛ヶ池グラウンド(葛ヶ池中学校跡地)』。

九月二日早朝、地元長岡東部体育会の人たち約五十人、それに市理容組合の人たち約十人が協力して、グラウンドの草むきや除草剤の散布の作業に汗を流しました。

白木谷(百三十七戸)・八京(四十二戸)地区住民は、過疎化の防止には電話の整備、道路の整備、テレビの映像を良くすることを目標にかかげ、地区の発展を望んで来ました。

この中継所は、NHK高知放送局が、八月上旬から工事を進めていたもので、八月二十九日に開局、両地区のテレビの映像が鮮明になりました。

南国意外史(10) 「市政会議」こうして誕生

さきに、市連合婦人会の代表たちが、結成二十周年の歩みを語る座談会(広報なんこく参照)で、まず「市政会議」を取り上げている。

うし、市民が市政に注目するきっかけをつくるだろう」と勧めた。男性の、外部からの提案とは、表面に現われなかったように思うが、とにかく取り上げられて、二

十年間も休まずに続けられてきた。この間、運営、議案(題)というように工夫を重ねて今日の姿になったことに、私は本当によかったと喜びを覚える。

また、入社数年後にアメリカの会社に出向し半年ほど研修するなど、前途明るい人生航路を歩んでいます。

「宇宙少年」成人し、名古屋に

前号の南国意外史(9)は、「市内のある少年が二十一年ほど前

あれから少年はどうして……」という内容でした。

三谷勇喜(大地) ◆十回にわたって掲載しました「南国意外史」、今回で一応終了です。